

比叡山延暦寺国宝殿「延暦寺伝来の工芸品」展

◆国宝

ほうそうげ ぎょえきばこ
宝相華蒔絵経箱 一合



- ・木胎 金銀蒔絵
- ・縦 33.0
- ・横 20.3
- ・高 17.0
- ・平安時代 (11世紀)

天台大師智顛筆と伝える法華経を納めていた経箱。法華経は開経・結経を含め10巻からなり、本品も中世以前に遡る経箱としては大振りである。経典は舍利(釈尊の遺骨)にも匹敵する大切なものであるから、それを納める経箱も善美を尽くして荘厳された。

蓋と身の縁に錫製覆輪をめぐらす合口造りで、ほぼ直方体の形をなし、とくに角に面をとる蓋の形状は、正倉院宝物の彩絵や漆皮の箱類、あるいは唐・新羅の金属製舍利容器など、7、8世紀の東アジアで見られた箱形を踏襲している。表面には、黒漆を塗り粗い鑢粉を蒔いた平鹿地に、金・銀・青金(金と銀の合金)の粉を蒔いて研き上げた研出蒔絵によって、円相内に四単位に展開する宝相華唐草文の団花文様を、各面に1~2個ずつ表している。その図様割付はあくまで規則的で、平安前期制作になる仁和寺蔵、宝相華迦陵頻伽蒔絵壇冊子箱の文様のごとき動感も影をひそめ平安後期の様相が色濃い。また花文の表現も、横川如法堂跡出土の金銅宝相華唐草文経箱のそれよりやや簡略となっていて、11世紀半ばから後半頃の制作と考えられよう。

(比叡山延暦寺)

◆国宝

こんどうほうそうげからぐさもんきゅうばこ
金銅宝相華唐草文経箱 一合



- ・比叡山横川如法堂跡出土
- ・銅 鍛造 鍍金 鍍銀
- ・縦 27.1
- ・横 12.1
- ・高 8.3
- ・平安時代 長元4年(1031)

天長10年(833)頃、比叡山中の横川に幽居した慈覚大師円仁は、一字三礼を以って法の如くに法華経を書写し(如法経)、これを小塔に納めて如法堂に安置した。以後、横川は如法経書写の中心地となった。

11世紀に入り、末法の世となり仏教が衰えるので、弥勒菩薩が56億7千万年後に到来するまで経典を地中で保存しようという風が高まった。それを背景に、長元4年(1031)、覚超ら叡山僧が円仁の如法経を銅筒に納め直し、さらに藤原道長の娘、上東門院彰子もこれに結縁して、法華経を書写し小銅箱に入れ、それらは如法堂の北西隅に埋納されたのである。降って大正12年、如法堂跡からこの金銅経箱が銅筒や木片・水晶玉などと一緒に出土し、上東門院埋納の経箱とみなされ国宝となった。印籠蓋造りの蓋と身は銀指金で留め、蓋に「妙法蓮華経」と双鉤文(籠字)の経題を記し、全面に宝相華唐草文を躍動感あふれた表現で蹴彫りして、全体に鍍金(金メッキ)、さらに文様間地と床脚部の格状間内に鍍銀を施している。一条天皇中宮の上東門院が、信仰の心を注ぎ制作せしめた平安時代金工の最高傑作である。

(比叡山延暦寺)

◆上沼緋佐子作(本人寄贈)

どろゆうしつ ぼりけい さいにちさんぞんしよ じきりばこ
泥釉七宝両界大日三尊種子経箱 二合



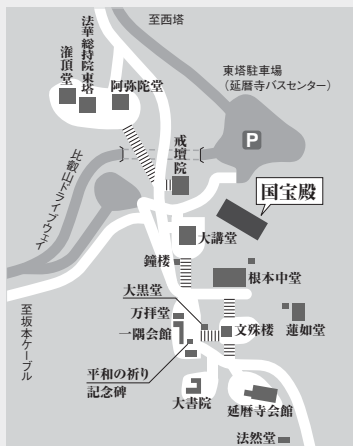
- ・銅 泥釉 七宝
- ・縦 6.0
- ・横 36.0
- ・高 6.0
- ・平成時代 平成6年(1994)

印籠蓋造りの経箱で、銅の素地を用い、左4分の1ほどを黒とし、その中に一条の帯(4列の連珠文)を設ける。紫を基調とした経箱は彩色帯の端を緑・青の混合帯とし、その左に7列の連珠文帯を配する。さらに、その右に金剛界大日種子を中心に左右に降三世明王・金剛薩埵を配し、その間4カ所に四角に円のモチーフを置く。緑色を基調とした経箱は、彩色帯の端は紫・青の混合帯と連珠文帯を配し、さらにその右に円相内に表現された胎蔵界大日種子を中心に、左右に宝金剛菩薩・不動明王を配し、その間4カ所に三角に半円のモチーフを置く。このように両経箱で密教の金剛界・胎蔵界の両界世界を表現している。泥釉七宝(泥七宝とも)は明治8年(1875)にドイツ人科学者ワグネルによって釉薬が改良されるまでに使用されていた、光沢のない不透明の釉薬による七宝のことで、焼成後も光沢がなく泥のような濁った感じがするため、この名で呼ばれる。明治以前の七宝はこの技法が主流であった。上沼氏は平成4年(1992)より泥釉七宝の再現に携わり、本経箱は2年の歳月をかけて制作された。経箱としては細身で、華麗に装飾されたものである。

(比叡山延暦寺)

お問い合わせ：比叡山延暦寺国宝殿 Tel.077-578-0001

(入山料) 大人550円/中・高生350円/小学生0円 (国宝殿入館料) 大人450円/中・高生200円/小学生100円 (拝観時間) 8時30分~16時 ※12月~2月は9時~15時30分



比叡山への交通

- 京都方面から
 - JR京都駅、京阪電車三条駅・出町柳駅⇒比叡山ドライブバス
 - 叡山電車八瀬比叡山口駅⇒叡山ケーブル・ロープウェイで比叡山頂駅下車
- 坂本方面から
 - JR比叡山坂本駅、京阪電車坂本駅⇒徒歩(またはバス)、坂本ケーブルでケーブル延暦寺駅下車
- 自家用車
 - 名神高速道路京都東I.C. ⇒西大津バイパスに入り、近江神宮ランプより下鴨大津線(山中越)で比叡山ドライブウェイ田の谷峠ゲートへ
 - 京都市内⇒北白川別当町から下鴨大津線(山中越)で比叡山ドライブウェイ田の谷峠ゲートへ
 - 琵琶湖大橋方面⇒国道161号の堅田または雄琴から奥比叡ドライブウェイ仰木ゲートへ

交通機関へのお問い合わせは

- | | | | |
|-------------------|------------------|----------------|------------------|
| ● 京阪バス(株)山科営業所 | TEL.075(581)7189 | ● 比叡山鉄道(株) | TEL.077(578)0531 |
| ● 京都バス(株)本社 | TEL.075(871)7521 | ● 江若交通(株)堅田営業所 | TEL.077(572)0374 |
| ● 京福電気鉄道(株) | TEL.075(841)9381 | ● 叡山電鉄(株) | TEL.075(781)5121 |
| ● 京阪電気鉄道(株)広報宣伝担当 | TEL.06(6944)2525 | ● 比叡山自動車道(株) | TEL.077(529)2216 |
| | | ● 奥比叡参詣自動車道(株) | TEL.077(578)2139 |